

2009年2月19日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

## 「マーケットスピード Ver7.3」リリースのお知らせ

～信用取引の利便性と操作性が大幅に向上いたします～

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都品川区）は、2009年2月22日（日）午前（予定）より、信用取引におけるシステムの変更にあわせ、弊社トレーディングツール「マーケットスピード」のバージョンアップを実施いたします。

### ■目的・ねらい

弊社では、2000年9月に信用取引の取扱いを開始し、2008年10月に信用取引口座数が100,000口座を突破いたしました。また、2009年1月においては、1ヶ月の信用取引口座開設数がネット証券5社中でトップのとなり、弊社の信用取引サービスへのお客様の期待が高まっているものと認識しております。

昨年より信用取引保証金の資金活用の効率化など、信用取引サービスの拡充を図ってまいりましたが、今回のバージョンアップに伴い、信用取引の注文時の操作性が向上し、保有資産の把握が容易になります。

### ■新バージョンのダウンロードおよびサービス開始予定日

2009年2月22日（日）午前4時～（予定）

### ■実施内容

弊社メンバー専用 Web 画面および、マーケットスピード Ver7.3 において、以下の3点に対応いたします。

#### ① 保有建玉を集約表示

従来は、信用取引の新規建注文が、同一日、同一価格で約定した場合においても、約定時間に応じて、建玉を分けて表示しておりました。

今回のシステム対応によって、同一日かつ同一価格で約定した銘柄については、まとめて表示されるため、返済注文を簡略化することが可能となります。

② 保有建玉の銘柄ごとの評価損益を一目で把握

従来は、約定した建玉ごとに評価損益を算出しておりましたが、今後は、同一銘柄の場合、建日・建単価が異なる場合においても、まとめて評価損益を表示するため、銘柄ごとの資産の増減が一目で把握できます。

③ 返済した建玉の実現損益を当日に概算表示

従来は、信用建玉を返済した場合、損益の確定値を翌朝に表示しておりました。今回の対応では、前日までの諸経費で算出した実現損益の概算が表示されるため、返済後直ちに、大まかな損益の動きを把握することが可能になります。

なお、当日の諸費用を含めた確定値は従来通り、翌朝にご確認いただけます。

弊社では、今後もお客様の取引の利便性を向上すべく、サービスの提供を図ってまいります。

【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「リスク説明」ページに記載の当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

[「リスク説明」についてはこちらをご覧ください](#)

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会